

要緊急安全確認大規模建築物 耐震診断結果一覽

【小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校】

[平成30年4月1日公表]

[令和4年7月1日更新]

練馬区

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
1-1	旭丘小学校	校舎	旭丘2-21-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.64$	III	—	—	
1-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 2.03$ $C_T \cdot S_D = 1.26$	III	—	—	
1-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.73$ $C_T \cdot S_D = 0.40$	III	—	—	
1-4					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 4.01$ $C_T \cdot S_D = 0.66$	III	—	—	
2-1	小竹小学校	校舎	小竹町2-6-7	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_T \cdot S_D = 0.77$	III	—	—	
2-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.81$	III	—	—	
3-1	豊玉小学校	校舎	豊玉中4-2-20	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.54$	III	—	—	
3-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.82$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
4-1	豊玉第二小学校	校舎	豊玉上2-16-1	小学校	6-2 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1977年版)	$I_S/I_{S0} = 1.43$	III	—	—	
4-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.80$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.54$				
5-1	豊玉東小学校	校舎	豊玉北1-16-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.36$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.88$	III	—	—	
5-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.45$				
5-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.23$ $C_T \cdot S_D = 0.32$				
5-4					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 2.08$ $C_T \cdot S_D = 0.39$				

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
6-1	中村小学校	校舎	中村2-8-1	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_B/I_{SO} = 1.28$ $C_T \cdot S_D = 0.48$	III	—	—	
6-2		校舎・屋内運動場			6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	III	—	—	
6-3		校舎			6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.82$	III	—	—	
6-4		校舎			6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.37$	III	—	—	
6-5		校舎			6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_B/I_{SO} = 1.73$ $C_T \cdot S_D = 0.63$	III	—	—	
7-1	中村西小学校	校舎	中村北4-17-1	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_B/I_{SO} = 1.53$ $C_T \cdot S_D = 0.62$	III	—	—	
7-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.68$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.41$	III	—	—	
7-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.38$	III	—	—	
7-4		校舎・屋内運動場			6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.33$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.44$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。

・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。

・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
8-1	早宮小学校	校舎・屋内運動場	早宮4-10-17	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.34$	III	—	—	
9-1	開進第一小学校	校舎	早宮2-1-31	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.23$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.74$	III	—	—	
9-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.23$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.75$	III	—	—	
10-1	開進第二小学校	校舎	桜台5-10-5	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.73$	III	—	—	
10-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$	III	—	—	
11-1-1	開進第三小学校	校舎・屋内運動場	桜台2-18-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.33$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.64$	III	—	—	
11-1-2					9 「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s = 0.76$ $q = 1.61$	III	—	—	
11-2		校舎			6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.78$	III	—	—	
12-1	開進第四小学校	校舎	羽沢2-33-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.18$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.75$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
13-1	仲町小学校	校舎	氷川台2-18-24	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.78$	III	—	—	
13-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.30$ $C_T \cdot S_D = 0.40$	III	—	—	
14-1	南町小学校	校舎	練馬2-7-5	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.59$	III	—	—	
15-1	北町小学校	校舎	北町1-14-11	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.81$	III	—	—	
15-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.80$	III	—	—	
15-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.60$ $C_T \cdot S_D = 0.43$	III	—	—	
15-4		校舎・屋内運動場			6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.26$ $C_T \cdot S_D = 0.36$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
16-1	北町西小学校	校舎	北町7-3-8	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.79$	III	—	—	
16-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.42$	III	—	—	
16-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.53$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.40$	III	—	—	
17-1	練馬小学校	校舎	春日町6-11-36	小学校	6-2 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1977年版)	$I_S/I_{S0} = 1.60$	III	—	—	
18-1	練馬第二小学校	校舎	貫井2-31-13	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.41$	III	—	—	
18-2		校舎・屋内運動場			6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.40$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.41$	III	—	—	
19-1	練馬第三小学校	校舎	貫井1-36-15	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.38$	III	—	—	
19-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.96$	III	—	—	
19-3					9 「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_S = 0.80$ $q = 2.46$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。

・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。

・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
20-1	練馬東小学校	校舎	春日町1-30-11	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.28$ $C_T \cdot S_D = 0.74$	III	—	—	
20-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.43$ $C_T \cdot S_D = 0.84$	III	—	—	
20-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.58$	III	—	—	
21-1	田柄小学校	校舎	田柄2-19-19	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.23$ $C_T \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	
21-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.58$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.60$	III	—	—	
21-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.35$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.89$	III	—	—	
22-1	田柄第二小学校	校舎	田柄1-5-27	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.78$	III	—	—	
22-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.79$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な 部分の地震に対する 安全性の評価の結果	安全性 の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
23-1	向山小学校	校舎	向山2-14-11	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$	III	—	—	
23-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_T \cdot S_D = 0.76$	III	—	—	
23-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 2.61$ $C_T \cdot S_D = 0.60$	III	—	—	
23-4					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 4.88$ $C_T \cdot S_D = 0.91$	III	—	—	
24-1	豊溪小学校	校舎	土支田2-26-28	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_T \cdot S_D = 0.77$	III	—	—	
24-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_T \cdot S_D = 0.71$	III	—	—	
24-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.61$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な 部分の地震に対する 安全性の評価の結果	安全性 の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
25-1	旭町小学校	校舎	旭町2-29-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.36$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.86$	III	—	—	
25-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.86$	III	—	—	
25-3		校舎・屋内運動場			6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.56$ $C_T \cdot S_D = 0.30$	III	—	—	
25-4		校舎			6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.46$ $C_T \cdot S_D = 0.43$	III	—	—	
26-1	高松小学校	校舎	高松3-16-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.33$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.81$	III	—	—	
26-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.57$	III	—	—	
27-1	春日小学校	校舎	春日町5-12-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.41$	III	—	—	
27-2		屋内運動場			9 「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s = 0.91$ $q = 1.21$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
28-1	光が丘秋の陽(旧田柄第三)小学校	校舎	光が丘2-1-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.81$	III	—	—	
28-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 2.16$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.43$	III	—	—	
28-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.33$ $C_T \cdot S_D = 0.83$	III	—	—	
29-1	石神井東小学校	校舎	南田中3-9-1	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.28$ $C_T \cdot S_D = 0.50$	III	—	—	
29-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.43$ $C_T \cdot S_D = 0.42$	III	—	—	
30-1	石神井西小学校	校舎	関町北1-1-5	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.56$	III	—	—	
31-1	石神井台小学校	校舎	石神井台8-6-33	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.77$	III	—	—	
31-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.33$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.81$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
32-1	上石神井小学校	校舎	上石神井4-10-9	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_T \cdot S_D = 0.42$	III	—	—	
32-2		校舎・屋内運動場			6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.56$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.53$	III	—	—	
32-3		校舎			6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	
32-4					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 2.31$ $C_T \cdot S_D = 0.50$	III	—	—	
32-5					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.35$	III	—	—	
32-6					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.71$ $C_T \cdot S_D = 0.35$	III	—	—	
33-1	北原小学校	校舎	谷原4-9-1	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.48$ $C_T \cdot S_D = 0.34$	III	—	—	
33-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.60$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
34-1	立野小学校	校舎	立野町17-13	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.25$ $C_T \cdot S_D = 0.77$	III	—	—	
34-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.33$ $C_T \cdot S_D = 0.44$	III	—	—	
35-1	関町小学校	校舎	関町北3-23-34	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.44$	III	—	—	
35-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.36$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	
35-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.34$	III	—	—	
35-4					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.63$ $C_T \cdot S_D = 0.44$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な 部分の地震に対する 安全性の評価の結果	安全性 の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
36-1	大泉小学校	校舎	東大泉4-25-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	
36-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	III	—	—	
36-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.46$ $C_T \cdot S_D = 0.54$	III	—	—	
36-4					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.23$ $C_T \cdot S_D = 0.41$	III	—	—	
37-1	大泉第一小学校	校舎	大泉町3-16-23	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.81$	III	—	—	
37-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 2.04$ $C_T \cdot S_D = 0.42$	III	—	—	
37-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.61$ $C_T \cdot S_D = 0.49$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
38-1	大泉第二小学校	校舎	南大泉4-29-11	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.16$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.72$	III	—	—	
38-2		校舎・屋内運動場			6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.52$	III	—	—	
38-3		校舎			6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_B/I_{SO} = 1.23$ $C_T \cdot S_D = 0.34$	III	—	—	
38-4					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	III	—	—	
39-1	大泉第三小学校	校舎	大泉学園町3-22-	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.78$	III	—	—	
39-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.35$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	III	—	—	
40-1	大泉第四小学校	校舎	西大泉1-24-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.49$	III	—	—	
40-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.53$	III	—	—	
40-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.90$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.46$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な 部分の地震に対する 安全性の評価の結果	安全性 の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
41-1	大泉第六小学校	校舎	南大泉5-25-29	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.35$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.54$	III	—	—	
42-1	大泉西小学校	校舎	西大泉4-25-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.64$	III	—	—	
43-1	大泉南小学校	校舎	東大泉6-28-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$	III	—	—	
43-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.49$	III	—	—	
44-1	大泉北小学校	校舎	大泉町4-28-22	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.38$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.30$	III	—	—	
44-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.21$ $C_T \cdot S_D = 0.46$	III	—	—	
44-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.31$ $C_T \cdot S_D = 0.52$	III	—	—	
45-1	大泉学園小学校	校舎	大泉学園町4-7-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.61$	III	—	—	
46-1	大泉学園緑小学校	校舎	大泉学園町5-11-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。

・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。

・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な 部分の地震に対する 安全性の評価の結果	安全性 の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
47-1	大泉学園桜小学校	校舎	大泉学園町9-2-1	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.40$ $C_T \cdot S_D = 0.40$	III	—	—	
48-1	泉新小学校	校舎	三原台3-18-30	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.33$ $C_T \cdot S_D = 0.46$	III	—	—	
49-1	橋戸小学校	校舎	大泉町2-11-25	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.36$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	
49-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.30$	III	—	—	
49-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.33$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.47$	III	—	—	
50-1	南田中小学校	校舎	南田中5-15-37	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.78$	III	—	—	
51-1	南が丘小学校	校舎	南田中2-13-1	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.81$	III	—	—	
51-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.80$	III	—	—	
52-1	富士見台小学校	校舎	富士見台4-16-10	小学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.43$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。

・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。

・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
53-1	八坂小学校	校舎	土支田4-48-1	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_B/I_{SO} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.75$	III	—	—	
53-2		校舎・屋内運動場			6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_B/I_{SO} = 1.30$ $C_T \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	
54-1	東京学芸大学付属大泉小学校	校舎	東大泉5-22-1	小学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_B/I_{SO} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.52$	III	—	—	
54-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_B/I_{SO} = 1.21$ $C_T \cdot S_D = 0.58$	III	—	—	
54-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.38$	III	—	—	
54-4					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_B/I_{SO} = 1.18$ $C_T \cdot S_D = 0.71$	III	—	—	
54-5					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_B/I_{SO} = 1.43$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.90$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。

・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。

・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な 部分の地震に対する 安全性の評価の結果	安全性 の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
55-1	旭丘中学校	校舎	旭丘2-40-1	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.33$ $C_T \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	
55-2			旭丘2-40-1	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.33$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.54$	III	—	—	
55-3			旭丘2-40-1	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	
55-4			旭丘2-40-1	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.38$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.49$	III	—	—	
56-1	豊玉中学校	校舎	豊玉南2-1-20	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.18$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.72$	III	—	—	
56-2		校舎	豊玉南2-1-20	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.45$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.72$	III	—	—	
57-1	中村中学校	校舎	中村南1-32-21	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.59$	III	—	—	
57-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.40$ $C_T \cdot S_D = 0.36$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な 部分の地震に対する 安全性の評価の結果	安全性 の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
58-1	開進第一中学校	校舎	早宮1-16-50	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.77$	III	—	—	
58-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.21$ $C_T \cdot S_D = 0.32$	III	—	—	
58-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.61$ $C_T \cdot S_D = 0.54$	III	—	—	
58-4					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 2.21$ $C_T \cdot S_D = 0.42$	III	—	—	
59-1	開進第二中学校	校舎	練馬2-27-28	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.21$ $C_T \cdot S_D = 0.30$	III	—	—	
59-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.33$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.85$	III	—	—	
59-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 3.28$ $C_T \cdot S_D = 0.64$	III	—	—	
60-1	開進第三中学校	校舎	桜台3-28-1	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.16$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.46$	III	—	—	
60-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.56$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。

・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。

・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な 部分の地震に対する 安全性の評価の結果	安全性 の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
61-1	北町中学校	校舎	北町3-1-34	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.21$ $C_T \cdot S_D = 0.30$	III	—	—	
61-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.40$ $C_T \cdot S_D = 0.32$	III	—	—	
62-1	練馬中学校	校舎	高松1-24-1	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.43$	III	—	—	
62-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.41$ $C_T \cdot S_D = 0.36$	III	—	—	
62-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 2.38$ $C_T \cdot S_D = 0.50$	III	—	—	
63-1	練馬東中学校	校舎	春日町2-14-22	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$	III	—	—	
63-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
64-1	貫井中学校	校舎	貫井2-14-13	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.18$ $C_T \cdot S_D = 0.72$	III	—	—	
64-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.20$ $C_T \cdot S_D = 0.47$	III	—	—	
64-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.30$ $C_T \cdot S_D = 0.32$	III	—	—	
64-4					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.41$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.86$	III	—	—	
65-1	田柄中学校	校舎	田柄3-3-1	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 1.18$ $C_T \cdot S_D = 0.39$	III	—	—	
65-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.59$	III	—	—	
66-1	豊溪中学校	校舎	旭町3-5-10	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.90$	III	—	—	
66-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{S0} = 1.28$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.87$	III	—	—	
66-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{S0} = 4.90$ $C_T \cdot S_D = 1.06$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
67-1	石神井中学校	校舎	石神井台1-32-1	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.40$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.43$	III	—	—	
67-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.38$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.86$	III	—	—	
68-1	石神井東中学校	校舎	高野台1-8-34	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.43$	III	—	—	
68-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.36$	III	—	—	
68-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 2.51$ $C_T \cdot S_D = 0.53$	III	—	—	
69-1	石神井西中学校	校舎	関町南3-10-3	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.25$ $C_T \cdot S_D = 0.80$	III	—	—	
69-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.40$ $C_T \cdot S_D = 0.66$	III	—	—	
69-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.60$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.48$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な 部分の地震に対する 安全性の評価の結果	安全性 の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
70-1	石神井南中学校	校舎	下石神井2-7-23	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.79$	III	—	—	
70-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.25$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.76$	III	—	—	
71-1	上石神井中学校	校舎	上石神井4-15-27	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.18$ $C_T \cdot S_D = 0.47$	III	—	—	
71-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.82$	III	—	—	
72-1	南が丘中学校	校舎	南田中4-8-23	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 1.18$ $C_T \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	
73-1	谷原中学校	校舎	谷原4-10-5	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.31$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.40$	III	—	—	
73-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.35$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な 部分の地震に対する 安全性の評価の結果		安全性 の評価	耐震改修等の予定		備考
									内容	実施時期	
74-1	三原台中学校	校舎	三原台3-13-41	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.48$	$C_T \cdot S_D = 0.39$	III	—	—	
74-2					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.50$	$C_T \cdot S_D = 0.43$	III	—	—	
74-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.76$	$C_T \cdot S_D = 1.30$	III	—	—	
74-4					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 2.16$	$C_T \cdot S_D = 1.12$	III	—	—	
74-5		屋内運動場			9 「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s = 1.24$	$q = 2.37$	III	—	—	
75-1	大泉中学校	校舎	東大泉4-27-35	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.26$	$C_{TU} \cdot S_D = 0.77$	III	—	—	
75-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.28$	$C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	III	—	—	
75-3					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.26$	$C_{TU} \cdot S_D = 0.47$	III	—	—	
75-4					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$	$C_T \cdot S_D = 0.62$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。

・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。

・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
76-1	大泉第二中学校	校舎	東大泉6-21-1	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.39$	III	—	—	
76-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.30$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.35$	III	—	—	
76-3					6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 2.58$ $C_T \cdot S_D = 0.59$	III	—	—	
77-1	大泉北中学校	校舎	大泉町5-4-32	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.23$ $C_T \cdot S_D = 0.30$	III	—	—	
78-1	大泉学園中学校	校舎	大泉学園町4-17-3	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.28$ $C_T \cdot S_D = 0.79$	III	—	—	
79-1	大泉学園桜中学校	校舎	大泉学園町9-2-1	中学校	6-3 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.31$ $C_T \cdot S_D = 0.31$	III	—	—	
80-1	関中学校	校舎	関町北4-34-23	中学校	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.33$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.37$	III	—	—	
80-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.56$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.42$	III	—	—	
81-1	八坂中学校	校舎	土支田4-47-21	中学校	2 平成18年国土交通省告示184号別添第1第2号の耐震診断の方法	$I_s = 0.78$ $q = 1.72$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。

・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。

・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果一覧

■ 小学校、中学校、中等教育学校の前期課程もしくは特別支援学校

- I 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が高い。
 II 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。
 III 地震の震動および衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性が低い。

番号	建築物の名称		建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	安全性の評価	耐震改修等の予定		備考
								内容	実施時期	
82-1	東京学芸大学付属国際中等教育学校	校舎	東大泉5-22-1	中等教育学校の前期課程	6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.40$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.86$	III	—	—	中高一貫校
82-2					6-4 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(2001年版)	$I_S/I_{SO} = 1.21$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.77$	III	—	—	中高一貫校
83-1	大泉特別支援学校	校舎	大泉学園町9-3-1	特別支援学校	6-2 (一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」および「第3次診断法」(1977年版)	$I_S/I_{SO} = 1.28$	III	—	—	

注意事項・地震に対する安全性の評価の結果については、耐震診断の方法ごとの各階・各方向の最小の値を記載している。
 ・建築物の安全性の評価に用いる係数(Z、Rt、G、U)は、特に記載がない場合は1.0である。
 ・公表内容は、建築物の所有者から報告された結果に基づく。